

R7 | みらい創造教育（飯田のキャリア教育）を軸として、地育力を活かした幼児期から高等教育期まで一貫した人材育成」の推進体制

飯田市みらい創造教育推進協議会

- ・キャリア教育推進に関する
 - ①基本的な方針の策定
 - ②評価及び検証
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課 ・関係課：教育政策課、教育センター

○担当コーディネーター（教育支援指導主事）
生涯学習・スポーツ課に在籍し、みらい創造教育（キャリア教育）全体の事業調整を行う

幼稚園・保育園・認定こども園	小学校	中学校	高校	大学・短大・専門学校
----------------	-----	-----	----	------------

- 地域を散歩する・体験する・浸る
- ・お手伝い
- ・友だちとの遊び
- ・地域行事、地域の方や小学生との交流

- 地域を学び、考え、伝える
- ・決められたお手伝い・当番活動
- ・家族の仕事調べ・社会見学
- ・児童会活動・地域行事への参加

- 地域とつながり、関わる
- ・キャリアフェス・地域の職場体験学習
- ・生徒会活動・ボランティア
- ・地域行事への参加・参画

- 地域のために行動・貢献する
- ・地域と協働した学び、探究学習
- ・地元企業を知る・インターンシップ
- ・講座への参加・ボランティア

- 地域のために行動・貢献
- ・専門性を活かした地域と協働した学び
- ・探究学習・ボランティア

みらい創造教育研究委員会

・みらい創造教育の推進に関わる具体的な事業を行う ・事務局：生涯学習・スポーツ課 ・関係課：教育センター、飯田市公民館

園小連携推進委員会

- ・「森遣や学びのつながり」を支える取組を考えたり周知したりする。
- ・事務局：教育センター、保育家庭課、

小中一貫教育推進委員会

- 『学園』小中一貫教育推進会議
 - ・特設カリキュラム編成委員会
 - ・「みらい創造科」を中核にカリキュラム作成、探究的な実践を重ねる
 - ・事務局：教育センター
- 『学園』学校運営協議会
 - ・コミュニティスクールの仕組を生かし「めざすこども像」やその実現に向けた取組を協議 ・学校・地域・家庭が協働するコーディネート
 - ・事務局：市公民館、教育政策課

高校・地域連携研究会

- ・高校生の学びの環境の充実（探究学習や進路選択に向けて支援）
- ・事務局：大学誘致連携推進室、生涯学習・スポーツ課

高等学校長との懇談会

- ・キャリア教育、探究的な学び、就労等への支援や情報共有を行う
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課

「社会職場体験学習」

- 「結いジュニアリーダー育成講座」
- ・事務局：教育政策課、生涯学習・スポーツ課

「地域人教育」

- ・事務局：飯田市公民館
- 「就労促進に関する事業」
- ・事務局：産業振興課
- 「学輪IDA・高大連携」
- ・事務局：大学誘致連携推進室

飯田市みらい創造教育推進フォーラム

・発表、評価の場として年1回開催 ・事務局：生涯学習・スポーツ課 ・関係課：教育政策課、教育センター 他

家庭におけるみらい創造教育

- （わが家の結いタイム等）
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課、学校教育課

地域・社会教育におけるみらい創造教育

- （公民館活動、地域行事への参加・参画 ボランティア等）
- ・関係課：飯田市公民館、生涯学習・スポーツ課、社会福祉協議会 等

庁内調整会議

- ・各課が事業推進する上での横の連携に重点を置いた調整・情報共有
- ・関係課：教育政策課、教育センター、市公民館、大学誘致連携推進室、産業振興課、保育家庭課、共生・協働推進課、ゼロカーボン指定推進課

令和7年度 未来創造教育(キャリア教育)に関わる高校生意識調査の結果

・高校生対象の調査は H27 年度以降実施していなかったが、R4年度より飯田下伊那8高校の全校生徒対象に実施している。

(H27 は郡内高校の各学年1学級ずつを任意抽出調査)

・質問1については、飯田市独自の質問で、質問2, 3については、小・中学生対象に実施している全国学力・学習状況調査の質問項目を、高校生の発達段階に応じた内容にするために、市内高等学校長と検討して決定した。

・回答項目は県が行う高校生対象に実施する「学びの指標」に合わせて5つとした。

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない ⑤回答できない・回答したくない

・回答時期:11月 ・対象:高校生全員(飯田市出身者と飯田下伊那8校に分けて集計)、市内小学6年、市内中学3年

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着を感じていますか

R7	①	②	③	④	⑤
飯田市	32.7	54.0	9.0	2.9	1.4
出身	86.7		11.9		1.4
郡内	31.7	53.9	9.0	3.7	1.7
8校	85.6		12.7		1.7

問3 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがありますか

R7	①	②	③	④	⑤
飯田市	17.8	37.9	28.5	13.6	2.2
出身	55.7		42.1		2.2
郡内	16.5	37.3	28.6	15.1	2.5
8校	53.8		43.7		2.5

1-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R7	R6	R5	R4	H27
飯田市出身	86.7	83.0	81.5	81.4	—
郡内8校	85.6	82.4	81.9	81.0	75.0
市中3	81.8	82.4	84.3	76.1	—
市小6	86.9	90.3	87.1	84.4	—

3-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R7	R6	R5	R4
飯田市出身	55.7	57.7	54.3	52.7
郡内8校	53.8	56.0	54.5	53.4

問2 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか

R7	①	②	③	④	⑤
飯田市	14.6	50.8	23.4	7.9	3.3
出身	65.4		31.3		3.3
郡内	13.7	50.3	24.1	8.2	3.7
8校	64.0		32.3		3.7

2-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R7	R6	R5	R4
飯田市出身	65.4	58.7	62.2	62.0
郡内8校	64.0	59.1	63.1	62.4

※参考 R5年度高校1年生→R7年度高校3年生の変化

飯田市出身	R5 1年生	R7 3年生	
問1(①+②)	83.7	86.8	+3.1
問2(①+②)	61.8	70.8	+9.0
問3(①+②)	48.5	60.7	+12.2

考察

・問1については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答は8割を超え、今までで一番高い数値で推移している。小・中学校において、地育力を活用した地域のヒト・モノ・コトに触れる学びの上に、高校においても、様々な学習に地域の方が関わり、地域のよさを考える機会が充実してきたのではないかと考える。

・問2については、地域課題の解決に関わりたい生徒が6割を超え増加している。高校での地域課題を解決していく探究的な学びの充実もある。今後も生徒の必要感に応じて飯田市としても支援をしていきたい。

・問3については、5割以上の生徒が地域(社会)と自分のつながりを意識して将来について考えている。

・参考にある同じ生徒の経年変化を見ると、今年の3年生は問2の数値が減少していたが、今年の3年生は、1年次から肯定的な数値が学年が上がるにつれて上がってきている。特に問3では、学年が上がるにつれて自分の将来を考えていくことは当然であるが、中でも地域とのつながりを意識して成長してきていることが分かった。今後も地域を意識して考えていけるような支援を大切にしていきたい。

令和7年度 みらい創造教育(キャリア教育)に関わるアンケート調査の結果

市内小・中学校の実態を継続的に見て、みらい創造教育(幼児期から高等教育期まで、発達段階に応じて地育力を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸として、ふるさとに誇りや愛着を感じ、人とつながり、自らの生き方を主体的に切りひらく力を育む教育)の推進につなげる。

<飯田市独自の質問> (回答時期:11月 回答率 小:86.6% 中 69.5%)

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着(好きな気持ち)を感じていますか

*「①当てはまる」「②どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R7	R6	R5	R4
市小6 (①+②)	86.9 (44.4+42.5)	90.3 (58.3+32.0)	87.1 (51.4+35.7)	84.4 (52.1+32.3)
市中3 (①+②)	81.8 (38.9+42.9)	82.4 (32.7+49.7)	84.3 (41.2+43.1)	76.1 (39.2+36.9)

※各校のデータについて知りたい学校は、担当までお知らせください。

考察

- ・地域に対して愛着(好きな気持ち)を感じている割合は、昨年度より微減ではあるが、小中学生ともに8割を超え、高い数値で推移している。
- ・令和4年度の6年生は、令和7年度の中学3年生であり、大きく数値が落ちてはいないが、「当てはまる」から「どちらかといえば当てはまる」への意識の流れが見られる。
- ・これからも地域の資源を活用したり、地域の人と関わったりしながら、「ムトスの学び」や「探究学習」を進め、ふるさとのよさを語るができる人、ふるさとのために行動しようとする心を育みたい。

<全国学力・学習状況調査の結果>

問2に関連 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか (R4まで)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか (R5より質問内容が変更)

*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R7	R6	R5	R4	R3	R1
市小6	78.7	86.0	80.9	52.3	52.6	55.9
県/全国	80.6/81.4	85.6/83.5	81.2/76.8	56.5/51.3	57.1/52.4	57.0/54.5
市中3	74.6	77.5	70.8	39.0	48.4	40.0
県/全国	76.4/75.3	79.2/76.1	68.8/63.9	46.0/40.7	49.2/43.8	43.9/39.4

問3に関連 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R7	R6	R5	R4	R3	R1
市小6	95.7	96.9	96.1	95.3	95.8	95.5
県/全国	96.5/96.4	96.3/95.9	96.2/95.9	95.6/95.1	95.9/95.5	95.3/95.2
市中3	96.5	93.9	95.6	94.9	96.5	95.0
県/全国	97.0/96.6	95.3/95.2	94.5/94.6	95.3/95.0	95.4/95.0	94.8/94.3

考察

- ・問2については、小学校は-7.3ポイント(県は-5.0ポイント)、中学校は-2.9ポイント(県は-2.8ポイント)と減少している。次年度から始まる「みらい創造科」や総合的な学習の時間を中心に、地育力を活用した探究的な学びや、地域課題について取り組む学びが各校で工夫して行われるように支援をしていきたい。
- ・問3については、高い数値で推移しているため、引き続き様々な教育活動を通して育んでいく。また、令和4年度の6年生は、令和7年度の中学3年生であり、中学生になりさらに数値が高くなっている。役に立ちたいという思いを学校や社会教育の場で発揮できるように考えていきたい。

令和7年度 社会職場体験学習に関するアンケートのまとめ

飯田市教育委員会事務局

アンケート回答数 138 事業所(依頼先事業所:187 事業所)

(業種別)

医療・介護・福祉施設	47/60	建設工事業	2/5
幼稚園・保育園	28/34	旅館業	3/4
製造業(精密機械等)	14/16	報道機関	3/3
官公庁	9/13	教育機関	2/2
小売・販売業	10/12	製造業(製袋・縫製・皮革)	1/2
サービス業	7/10	会計士・税理士・弁護士	1/1
飲食業	2/8	保険薬局	1/1
自動車販売、整備	3/6	その他	1/5
製造業(食品等)	4/5		

Q1 飯田市教育委員会による、職場体験のための職場開拓支援策に関連してお伺いします。

A 教育委員会との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？ (R6%)

① 連絡の行き違が多かった。	3	2.2% (0.7%)
② 特に問題はなかった。	131	94.9%(97.8%)
③ その他	4	2.9% (1.5%)

B 学校(教職員)との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？

① 連絡の行き違が多かった。	5	3.6% (2.2%)
② 特に問題はなかった。	125	90.6%(94.9%)
③ その他	8	5.8% (2.9%)

Q2 貴社にとって、メリットと感ずることはどのようなことですか？(複数回答可) (R6%)

① 子どもたちが当社の仕事に関心を持ってくれる。	121	89.0%(89.0%)
② 未来の後継者・担い手が育つきっかけになる。	89	65.4%(64.7%)
③ 従業員が刺激され、緊張感が出てくる。	48	35.3%(32.4%)
④ 社内の雰囲気良くなる。	44	32.4%(33.8%)
⑤ 従業員の家庭教育の見直しにつながる。	5	3.7% (7.4%)
⑥ 最近の子どもたちの考え方に触れることができる。	80	58.8%(67.6%)
⑦ CSR・地域貢献の取組として、地域や取引先からの信頼度が上がる。	34	25.0%(30.9%)
⑧ メリットは感じない。	1	0.7% (0.7%)
⑨ その他	5	3.7% (3.7%)

・職員にとっても、生徒さんに理解いただきやすい説明を心がけることは、説明能力の向上にも寄与すると考えています。

・企業側も人員確保が年々厳しい状況です。県外企業以外にも地元にも、こういった企業があるという認識を持ってくれる事は有り難い機会と捉えております。また、家庭環境に於いても会話の機会が増えコミュニケーションのツールの1つになると思っております。今後も積極的に取組への支援をさせていただきます。

Q3 よりよい体験学習のために、貴社が工夫されたことについてお答えください。(複数回答可)

① 体験学習の実施について社内への周知を図った。	111	81.6%(73.5%)
② 受入れプログラムを作成した。	26	19.1%(22.8%)
③ 生徒を朝礼や会議などに参加させた。	46	33.8%(41.9%)
④ 生徒に自発的に考えさせる場面を与えた。	47	34.6%(28.7%)
⑤ 会社概要・社内案内、安全確認等のオリエンテーションを実施した。	55	40.4%(44.9%)
⑥ その他	10	7.4%(5.9%)

Q4 職場見学や職場体験のご感想・ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。(抜粋)

- ・得意なこと、好きなことを披露してもらう時間を作りました。張り切ってやってくれ園児たちも憧れの目で見えました。
 - ・学生に保育の一場面の体験を行いたいかな否か、自分で考えてもらえるよう選択肢を設け、取り組みました。
 - ・職場体験中に誕生会がありました。誕生会には職員によるアトラクションがあるのですが、学生さんがサックスが得意ということで、子どもたちの前で演奏をしてくれました。子どもたちは大喜びでした。みんなで楽しいひと時を過ごすことができました。
 - ・当社は福祉サービス、就労継続支援事業であり世間にはなじみのない業種ですが、生徒さんたちに知って頂きたい機会となりました。福祉業界も人手不足に悩んでおり少しでも興味を持って頂けたら嬉しいです。
 - ・この体験を通して、製造業について興味を持っていただき、ものづくりの楽しさを感じていただけたら幸いです。
 - ・今後、若者が大切な社会人の一員として、自己肯定感をもって就業するために、大切な取組と考えています。協力できるところは積極的に協力していこうと考えています。
 - ・園児の気持ちを理解しようと、目線の高さを合わせ、優しい言葉や分かりやすい言葉で接している姿が印象的でした。
 - ・短期間ではありましたが、社員と共に昼食を取ったりして、コミュニケーションを取ることができました。
 - ・中学生が来てくれることで利用者の方々が生き生きとしており、普段あまりしゃべらない利用者の方も話していたのが印象的でした。子どもが来てくれることで利用者の方々が楽しく過ごせるので職員側も嬉しいです。
 - ・積極的に話をする感じではなかった男子生徒さんが、職員の居ない所で利用者から急に声をかけられていましたが、礼儀正しく答えながらも会話を繋げていたところがすごく素敵でした。
 - ・短い体験期間でも、参加学生が主体的に考え成長する姿が見られた点が素晴らしかったです。後日、店頭に掲出した活動報告を見に親御さんも店舗に足を運んでくださったことも印象に残っています。
 - ・特別支援学級の生徒さんが参加されていたので、事前に関わり方を教えていただいたり、体験期間の訪問時にも様子を伝え、参加の仕方の確認・連携を行うようにした。担任が午睡時に「トントンしてあげて」と声をかけたが、固まったまま動かない様子があった。2日目は担任が「手を置くだけでいいよ」とやり方を伝えると、手を胸の上に置き、子どもが眠ると嬉しそうに笑顔を見せた。3日目は生徒さん自身がトントンして寝かしつけてくれて、生徒さんの様子に合わせて声をかけることで、一日一日の成長に感動しました。
- △生徒さんが希望した会社・業種ではないというお話を聞きました。生徒さんも残念がっていました。ぜひ、本人の希望を第一優先にしてあげてほしいです。→学校での指導として、社会職場体験の目的を持たせる。
- △散歩先で体調が悪くなってしまったようで、迎えに行きました。急な事案が起こった時の対応が受入側だけでは難しいということを感じました。また、帰宅時に親御さんの迎えが遅く、多少対応に困った時がありました。
- 危機管理への対応と協力について学校・事業所・保護者と共有しておく。

令和7年度 社会職場体験を通しての感想と学び（抜粋）

職場名	①体験を通して学んだこと ②働く意義について考えたこと
株式会社 マエダ	①大人の人たちは、お金を稼ぐためであったり、お客さんのためであったり、それぞれの自分が働く意味を持って働いているということ学んだ。 ②他の人のために働いてやりがいを感じ、自分の生活も豊かにする
飯田ケーブル テレビ	①自分の仕事に責任と誇りを持っていると感じた。てきばきと自分の仕事をこなしていたので、自分から行動することの大切さがわかりました。 ②人の助けになるため、誰かの過ごしやすい生活のため
アピタ飯田店	①てきばきと自分の仕事に集中している。それぞれの役割に責任をもって仕事と向き合っている。 ②生きていくためにお金を稼ぐけど、その中でもやりがいを見つけること。
飯田養護学校	①職員の皆さんは児童たちファーストで物事を考えている。気配り力がすごい。 ②誰かの役に立つこと。お金も必要だけど、役に立つことの方が、対価が大きいと思う。
中村保育園	①働くという事には、楽しさややりがいだけでなく、つらいことなどもあると改めて知ることができた。 ②生きることだと思う。生きるためにはお金が必要だし、やりがいを見つけてがんばるのも生きることだと思う。
相互車体(有)	①大変な状況であっても、弱音を吐かずに精一杯頑張っていたことから、すぐにあきらめない精神の強さを学べた。 ②自分のためでもあり、他人のためでもある。販売者(生産者)と買う人お互いのため。
平安祭典	①お盆に向けて販売する提灯の出荷準備などをお手伝いしました。亡くなった方や遺族の方を支えるために一人一人が一生懸命働かれています。 ②「この仕事は大変な事が多いけど、感謝の言葉がやりがいになる」とお話しくださったことが、働く上で大切なんだと思いました。
ディサービス センター	①利用者さんに常に笑顔で接し、一人一人の利用者さんが、何ができて何が難しいのかを理解して、利用者さんに本気で寄り添っているのが分かった。 ②働かなければ生きていけないけど、そこで誰かの役に立つ働き方をしていくこと。
松尾あかり 保育園	①子どもたち一人一人に合った接し方や話し方をしていた。子ども達の笑顔や成長を見るために頑張っているんだと言っていた。辛いこともあるが自分のできることをしている。 ②自分が生きていくためにも必要だし、自分が関わっている人に対して思いやりをして笑顔になってもらいたいこと。
アンジェロー ブ・ジェルネ	①結婚式という一生一度の大切なイベントだから、お二人の意見をなるべく尊重していたこと。 ②お金を稼ぐことも大切だけど、誰かのために働くことだと思う。

<グループトークから働く意義をみんなで考え合う中で出されたこと>

- ・生きていくためには働いてお金を稼ぐことは自分のために必要な事だけど、働くことは、誰かの幸せのためにもしていることで、誰かの役に立つことがやりがいになり、それは自分に返ってくる。社会は人との関わりで成り立っていて、よいサイクルをつくっていくことが大事ではないか。
- ・人のために貢献する形は色々けども、自分の好きなこと、楽しいと感じられることを見つけたい。やりがいを感じられる仕事は頑張れると思う。
- ・体験先は、自分がなりたい職種ではなくても、働くことの意義を考えたり、職業理解にも結びついたりした。学校では体験できない貴重な勉強ができてよかった。こうやってみんなと体験したことを話し合うことで働くことの意義も深まっていくと感じた。



令和7年度 各中学校の「みらい創造教育」の取組について

(1/3)

学校名	実施学年	活動名	学習内容	生徒の育まれた力や姿、学習活動の課題
飯田東	1	他校との交流	「知る」「発信する」浜松市都田中学校との交流を通して、りんご並木の活動や魅力を学び、発信している。	中学校の歴史、諸活動について知識を持つ
	2	地域探究学習	「体験する」飯田市外のまちづくりについて現地調査し、体験的に学び、3年生の地域参画への準備をしていく。	他地域や社会職場体験との関連性をもつ
	3	地域貢献プロジェクト	3年生は、これまでの学び（知識、発信、体験）を活かし、地域と関わりながら自分たちのできる「社会貢献」について企画し、実際に運営にチャレンジしていく。	今後のまちづくりへの一端を担う
飯田西	1	地域探究学習	自分たちが暮らす地域がどのような場所なのかを知り、地域で働くことや地域に貢献することについてのイメージをもつ。	地域社会に対する深い理解と貢献意欲を育むことができた。
	3	バンブープロジェクト	放置竹林の削減と竹の持続的な利活用について考える。	課題解決に向けた実践力を養うことができた。
緑ヶ丘	2	結い未来プロジェクト	飯田下伊那地域で働く大人から、その職業に関する話を聞いたり、職務の一部を体験したりすることで働くことの魅力について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・本気で働く大人の熱意を感じることでできた。 ・「働くことの魅力」に対する生徒の考えが広まった。 ・本学習と職場体験学習との結びつけ。
	1	ふるさと巡り	各地域の小学校から集まった中学生が、互いの地域の魅力について触れ合う。	知っている地域の魅力に改めて実際に触れてみる。必要感や仲間づくりの意識を育むことが難しかった。
竜東	1	職場見学	市の方から飯田市の未来について話を聞いたり、飯田の魅力に触れたり、市の伝統である水引の体験をしたりして、市の魅力について触れて考える。	地区の外側にある市の魅力を改めて知るといいう目的があるが、実態として触れておしまいになってしまい、中学生の1日の総合をを使った活動としては物足りなさを感じた。例えば、水引体験をしたが、その場で「やったことある人？」で全員が「ある」と答えていて、同じ経験をただけにたかたかできなかったかになってしまった。
	1	放置竹林の竹の活用について	地区にある放置竹林について考え、行動してみた。地区の魅力について見つめ直し、PRしようとした。	地域を素材に生徒が主体となって考え、行動しようとした。活動時数が少なく、良し悪し関係なく、足跡が少ない。現地を歩く手段がない。

学校名	実施学年	活動名	学習内容	生徒の育まれた力や姿、学習活動の課題
竜東	2	竜東ブランディングプロジェクト	竜東中の地のもを使った焼肉のたれを作成し、飯田市をもっとPRする	焼肉のたれを自分たちで作ると決め、分量を調整したり、市販のたれの成分調査表を注意深く観察したりして、比較する姿があった。 また、味見をしてから「次のたれはこうしよう」といった工夫が見られるようになり、総合的な学習のPDCAサイクルが回り始めることを感じた。 かきさとのものを使って作ろうとしているが、すでに有名なものだけでなく、もつと地域のもを知り、理解してから利用する必要があるので、地域に出でいく方法や地域とつながる方法を広げたい。
	2	平和学習	自分たちの故郷である飯田下伊那でも戦争でも戦いや当時の人々の思いや当時の社会情勢について学ぼうとすることがあり、当時の人々の思いや当時の社会情勢について学ぼうとすることを通して、平和な社会とは何かを考えたり、これからの生き方や社会のあり方について学ぶ。	事前学習の動画視聴を通して当時の時代背景や満蒙開拓団の実態を知り、戦争の悲惨さや理不尽さを感じた生徒が多かった。さらに、平和祈念館の見学を通して、ガイドさんから展示を紹介していただいたり、話を聞くことを通じて平和の尊さを実感することができた。
	3	竜東ツーリズム～農家民泊から考える少子高齢化する地域に自分たちができること～	竜東地区で20年以上の歴史がある「農家民泊」に焦点を当て、運営者、体験者、行政の職員等に聞き取りをすることで、地域の持続可能性について考える。	自ら問いや計画を立て学習を実行する力 地域の方たちと多くかかわること 課題を自分事として考えられるようになっ た。バスの利用回数が限定されており、学校の外で活動をするのが難しいことが多くあった。
竜峡	全校	地域をもっと知る会	地域で特色あるユニークな活動を行っている方をお呼びして、全校生徒がブースに分かれて地域の活動を体験することを通じて、地域への関心をさらに高めたり知識を深めたりして、これまでに以上全校が地域とかがかわる機会をもっととす雰囲気をつくる。	
	2	地域の方から働くことについて学ぼうの会(職場体験事前学習)	一昨年度まで全校で行っていた「キャリアフェスティバル」がなくなつたので、2学年のみで「職場体験事前学習」として実施。地域で働く方々を8名お呼びし、各ブースにわかれてお話をうかがった。	

令和7年度 各中学校の「みらい創造教育」の取組について

(3/3)

学校名	実施学年	活動名	学習内容	生徒の育まれた力や姿、学習活動の課題
旭ヶ丘	1	飯田市の魅力を知ろう！	自然、伝統文化、環境都市、災害・防災、農業・産業、食文化、安全な街の各講座に分かれて施設見学や体験学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の産業や自然に目を向けて学習に取り組むことができた。 学習した内容をさらに追及するようなサイクルを構築したい。
	3	共に生きる社会づくり～豊かに生きるとは～	平和学習、満蒙開拓平和記念館見学	身近な過去の歴史を学ぶことで、誰もが豊かに生きるためにはどうすべきか考えをきっかけとなった。
県	1	地域調べ	県図書館に向いて、地域史料をもとに地域についての理解を深める。	地域についての理解を深めた。
	2	職場体験学習	職場体験を通して、大人のすごいところを見て、触れて、どのような大人になりたいかを考える機会とする。	大人を知る、大人になるにあたって考えを深めた
高陵	全校	全校総合	総合的な学習の時間（年25時間程）で、地域のひと・もの・ことに目を向けて生徒一人一人がテーマを設定し、探究する活動を行った。実体験を通じた学びを大切に考え、生徒の願いや思いに添じた校外学習（実際に触れたり、関わったり、感じたりする等）の機会を確保した。その際、学園コーデイネーターと連携して、地域や保護者からボランティアを募り、校外学習の引率をお願いしたり、講師として生徒とともに活動について考えてもらったりした。	「地域のために中学生にできることは」について各自テーマを設定し、地域のよさや課題について自分事にして考え、生徒がいた。反面、自ら「課題を設定する」ということが難しく、その結果、追究に深まりが見られず、何となく活動を終わらせてしまい、自らの考えや課題が新たに更新されない生徒もいた。
	1	キラリ☆ハタラキビト	小学校6年生と中学校1年生が、地域の産業や文化に出会い、そこで働く方々の多種多様なキャリア・生き方から学んだり、将来にわたる自分の生き方について考え、進路選択の一助にしたりすることを目的にして活動した。当日は、40社程の企業を学校にお呼びし、体験活動やお話を聞くだけでなく、講師の方々の生き方に関わる質問や疑問等、相互のやり取りを大切に活動した。	中1では、実行委員を立ち上げ、テーマを決めたり事前学習を進めたりするなど、事前学習に力を入れてきた。反面、社会職場体験学習を中心とした、中2のキャリア教育への接続を意識した事後学習に課題が残る。また、中学校が中心になって活動を進めているため、小学校とのより綿密な連携が必要である。
遠山	全校	とおやまGO！タイム	遠山郷の魅力を発信する。	生徒はグループごとに分かれ、自分たちの設定したゴールに向かって活動に励む姿が見られた。自分たちで課題を解決していくことを学ぶことができた。
	全校	スマイルプロジェクト in 遠山郷	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお年寄りの方々との交流を行う。 保育園児との交流を行う。 霜月祭で使用する神社の清掃活動を、地域の方々とともに行う。 	各活動は3学年が中心になって企画立案し、活動を行った。活動を通して、地域の方や、地域の神社への感謝の気持ちや学びができた。
	全校	地域の方に学ば会	地域の方を講師に迎え、講座ごとに地域の伝統文化に触れながら活動を行う。	地域で大切にしてきたものや伝統に触れるとともに、地域を知り、地域の良さを改めて知ることができた。

飯田市主催事業

1 飯田女子高校 「総合社会」

対象：2学年「総合社会」を選択している学生 約30人

概要：2学年の選択授業「総合社会」において、高校生が地元の企業や産業を知り、将来の職業選択の視野を広げることを目的として、地域で働く様々な業界の方からの講義を実施。

開催日・参加事業所

5月21日(水) シルクホテル中田製絲(株)	10月29日(水) (株)ジョイフル・テン
5月28日(水) (株)ふくやま	11月5日(水) コーケンフード&フレーバー(株)
9月17日(水) 信州航空電子(株)	11月19日(水) 夏目光学(株)
10月8日(水) 旭松食品(株)	12月3日(水) ハローワーク飯田
10月15日(水) (株)キラヤ	12月10日(水) 多摩川精機(株)



2 阿南高校 「校内企業説明会」

対象：2年生 約40人 日時：11月13日(木)14時30分~15時30分

概要：就職のミスマッチを無くすため、本格的に就活をはじめ前の高校2年生が各産業分野の理解を深めることを目的として、校内企業説明会を実施。企業が高校に集まりブースを構え、高校生は興味のある事業所を2つ選択して聴講した。



参加事業所：8事業所

エヌティーツール(株)、(株)キラヤ、(株)NEXAS、旭松食品(株)、シルクホテル中田製絲(株)、(株)Uホールディングス(長野トヨタ自動車(株)飯田支店)、北沢建設(株)、(株)浜島精機

3 飯田風越高校 「職業学習」(職業ガイダンス)

対象：1・2年生 約400人 日時：12月18日(木)14時25分~16時15分

概要：進学後の地元就職に対する関心を高めることを目的に、地域内12事業所による、17の職種・業種のガイダンスを実施。全体講義では地域の雇用状況と就職に向けた心構えについてハローワークの方の講義を受け、その後、学生は2つの職業分野を選択し、分野別の講義を受講した。



参加事業所：12事業所

健和会病院※1、飯田下伊那薬剤師会、シルクホテル中田製絲(株)、飯伊美容師会、綿半ホームエイド・綿半ソリューションズ、(株)ジョイフル・テン、長姫調査設計(株)、吉川建設(株)、旭松食品(株)、KOA(株)、飯田広域消防本部、飯田市役所※2

※1「看護師」「臨床検査技師」「放射線技師」「リハビリ」「管理栄養士」が参加

※2「行政職」「保育職」が参加

4 新社会人育成講座

対象：就職予定の高校3年生 参加者：49人

開催日時：2月10日(火)、2月13日(金)、2月19日(木)、2月20日(金)
各日 9時00分~16時30分

概要：地元企業への就職を予定している高校3年生が、社会人としての心構えを育み、マナーを身に付けるための連続4回の講座を実施。学生が就職への不安を解消し、自信をもって社会人生活をスタートできるよう、仕事の進め方、コミュニケーションスキル、ビジネスマナーなどを学ぶ。



1 高校3年生・教職員による飯田・下伊那企業説明会

対象：飯田下伊那の高校3年生 日時：6月3日(火)9時45分～11時45分、13時30分～15時30分

概要：高校生3年生が就職前に地元企業に対する理解を深める事を目的としてガイダンス事業を実施。参加企業がブースを構え学生に企業の概要について説明した。1クール20分間の5クール制で行い、第1～2クールは学生の希望に沿って予め割り振られた企業の話の聞き、第3～5クールはフリータイムとした。

参加事業所：84事業所 会場：エス・バード

参加学生：252人

A.M. 飯田 OIDE 長姫高校：100人、下伊那農業高校：32人
岐阜中京：1人

P.M. 阿智高校28人、阿南高校：22人、松川高校：32人、
飯田女子高校：33人、風越高校：2人、駒ヶ根工業：2人



2 高校2年生・教職員による飯田・下伊那企業説明会

対象：飯田下伊那の高校2年生 日時：12月11日(木)10時30分～12時00分、13時30分～15時00分

概要：高校生が地元企業や地域産業に対する理解を深める事を目的としてガイダンス事業を実施。参加企業がブースを構え学生に企業の魅力を伝えた。3クール制で行い、第1・第2クールは学生の希望に沿って予め割り振られた企業の話の聞き、第3クールはフリータイムとした。

参加事業所：84事業所 会場：エス・バード

参加学生：429人

A.M. 飯田 OIDE 長姫高校：203人、

P.M. 下伊那農業高校：67人、阿智高校51人、阿南高校：43人、
松川高校：27人、飯田女子高校：36人、風越高校：2人



3 飯田 O I D E 長姫高校 事業所説明会 事前学習会

対象：2年生

概要：学生が説明会で話を聞くブースを選択するにあたり、地域内の企業に対する知識を広げることを目的として、事前学習会を実施。事業所説明会に参加を予定している企業15社が事前に高校に訪問し、短時間（1社8分）の企業説明を行った。

<p>第1回 対象：機械工学科、電子機械工学科、 電気電子工学科 約120人 日時：10月16日(木) 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 (株)キンポーメルテック 多摩川エアロシステムズ(株) 多摩川精機エレクトロニクス(株) 昭和電設工事(株) 花井メディテック(株)</p>	<p>第2回 対象：社会基盤工学科、建築学科 約80人 日時：10月23日(木) 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 神稲建設(株) 三星ダイヤモンド工業(株) 吉川建設(株) 大王パッケージ(株)長野工場 北沢建設(株)</p>	<p>第3回 対象：商業科 約80人 日時：11月20日(木) 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 (株)天龍 (有)野中製作所 (株)サカイ引越センター飯田支社 飯田建設(株) 綿半グループ</p>
---	--	---

令和7年度 飯田市みらい創造教育(キャリア教育)推進フォーラム アンケートのまとめ

テーマ
一緒にえがこう 私の未来とふるさとの未来

期日：令和8年2月7日(土) 13:00~16:00

会場：飯田市鼎文化センター

参加者：321名 (R6:272名 R5:228名 R4:209名)

事前申し込み 249名
その内参加者 233名
当日参加者 88名

I 参加者 321名 (R6:272名) 内訳 (行政機関には事務局、市議会、委員等含める) ()はR6年度

園児	小学生	中学生	高校生	学生	園学校職	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
1(1)	25(9)	54(26)	1(7)	5(4)	80(87)	64(47)	16(15)	57(60)	14(11)	4(5)

*実践発表の小中学校はクラスで参加、中学では生徒会役員等に声をかけて参加してくれたため参加者が増えた

II アンケート回答者 68名 (R6:64名) 内訳

小学生	中学生	高校生	学生	園学校職員	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
0(0)	26(7)	0(2)	1(0)	17(34)	10(3)	1(2)	6(9)	7(4)	0(3)

*紙43件、データ14件

III フォーラムの満足度

①満足	②おおむね満足	③やや不満	④不満	⑤その他	印なし	回答数
47(45)	17(15)	1(1)	1(0)	0(0)	2(3)	58(64)

*記入していただいた皆様からは肯定的にとらえていただいた。

理由：③第II部では時間が無くて、もっといろんな人と話したかった(中) ④自分と自分の学校の発表(中)

IV 感想やご意見 (抜粋)

- 1 第I部 幼児期から高等教育期までの実践発表について、ご感想やご意見をお書きください。**
- ・発表してくれた人たちは皆「自分はどうしたいんだ!」と思っていることを行動に移して、失敗しても、それを一つの進歩として変えていることはとても大切なことだと思いました。(中学生)
 - ・飯田市はこんなにも広いんだと思った。一人一人が、この飯田市について考えていることは異なり、テーマも調べ方も違うけれど、必ず共通していたことは、地域をよくしたいという思いと、皆が笑顔で過ごせるようにするという気持ちだということを知った。(中学生)
 - ・発表した方からの話を聞いて、「リアクション」で終わってしまうのではなく、「アクション」に移るところに刺激を受けました。(中学生) ・飯田高校の内山さんの話が印象に残りました。(中学生)
 - ・地域と学校が連携して子どもたちの学びを支えていることを改めて実感した。実際に地域の人と関わりながら学ぶことで、自分の進路や生き方を考えるきっかけになっていることを実感した。(専門学校生)
 - ・どの発表も、それぞれの問いや気づきから出発して、次々に願いを見出し、遭遇する課題を解決しようと取り組んだ発表、とても参考になりました。コアカレッジの発表の中にあつた「ふるさとの魅力を語れる人になろう」この事を、自分がまずそうなると思った瞬間でした。(園・学校職員)
 - ・みらい創造科が大事にしている姿が発表の中にありました。先生方と共有したいと思います。(園・学校職員)
 - ・願いと思いをもって、そこから出会いが生まれ、活動がつくられていく、その楽しさがしっかりと伝わって来ました。幼保から小・中・高・そして専門学校、それぞれの場所でこうした活動がつくられていること、そこに飯田らしさがあることを感じました。今、中学校で働いていますが、地域の幼稚園・保育園、小学校、そして高校へとつながっていったら・・・そんなことを感じさせられました。結いジュニアリーダーとして参加した生徒は、本当に素敵な学びをしたことを教えられました。是非その学びを学校でも伝えていける場をつくっていきたいと思いました。(園・学校職員)
 - ・それぞれの学びの中で、地域とつながり、人に触れ、自分を形成していくキャリア教育の過程を感じられた発表でした。この力を地域で発揮して行ってほしいと願います。(PTA・家族) (産業界)
 - ・それぞれの発表者が目的や思いを自分たちの言葉で伝えようとしている姿を見て、良い発表が聞けてよかったです。
 - ・学生の皆さんが地域の課題に対して向き合い、研究を深めている姿に頼もしさを感じました。行政と学生の皆さんと手を取り合いながら地域の活性化を目指していきたいと思いました。(行政機関)
 - ・今まで「～をしました」「～の活動をしました」という活動報告が多かったのですが、今回は、活動を通して、自分の夢や見つかった○○になりたい等、自分の将来について考えている内容に触れることができました。深い内容があったと

思います。(地域の方)

2 Ⅱ部 パネルディスカッションについて、ご感想やご意見をお書きください。

- ・人との関わり方について、色々沢山学べました。大人の人達と関わり、好きなことを否定されないうれしさも学べました。これからも、自分の“好き”をかくさず、良いところを広めたいです。(中学生)
- ・大人の方と、自分の好きなこと、興味あることや、将来についてお話をして、自分の好きなことを伝えることができたし、他の人のこともたくさん聴いて、自分の考えが広まった。自分の“好き”や“興味”は人との関わりから生まれ、将来へのきっかけも、誰かの行動や言葉だったりすると気づいたので、私もこれから、人との関わりを大切にしていきたいと思う。また、パネリストの皆さんのように、たくさんの方に挑戦していきたい。(中学生)
- ・自分の好きなことをどう将来につなげていけば良いのか分からなかったけど、一緒に話した大人の方に、「その時の自分の決断が大事で、やりたいという思いを大切に」と話していただいたことを大切にしたいと思いました。(中学生)
- ・年が違っていても、みなさんが持っている想いは同じなんだと感じました。「最強」になってください！(中学生)
- ・小中学生がパネリストに入っているところがよかったです。世界の情勢が不安なだけに、平和を考える過去の歴史を大事にするこども達の思いが聞けてうれしかったです。(園・学校職員)
- ・パネリストの方々のお話を聞いて、飯田にこんながんばっている人いるんだと嬉しい気持ちになりました。好きという気持ちや人との出会いが、探究につながるということが分かりました。(園・学校職員)
- ・発表してくださった方々に勇気もらいました。司会進行されたお二人に「あっぱれ」です。(PTA・家族)
- ・人とのつながりが未来につながるものがあることに感動しました。(PTA・家族)
- ・熱い想いを聞かせてもらい、ありがとうございました。自分のできるや、やりたい事に力を入れていきたいと改めて思いました。(産業界)
- ・山本さんのように外に出て夢を持って羽ばたいている姿、素敵です。離れてみてふるさとの良さに築くということは、幼初期からよい関わりの中で過ごされたのだなあと思います。飯田を心根に持ち続けてくれていることが嬉しいし、何らかの形でいつかふるさとに関わってもらえたら嬉しいです。山崎さんの、中学校時代の園児との交流は、はじめは好きや関心がなくても、関わることでこどもが好きになり将来の仕事にも結び付いていったので、若い皆さんには、何かをやってみることから人生が変わるかもしれないと思いました。お二人の話はもっと多くの生徒さんに聞いてもらいたかったです。(行政機関)
- ・とても楽しい時間でした。若い人たちから、エネルギーを頂きました。飯田の未来は明るいと思います。私たちもたくさんの人とつながりをもっと増やしていこうと思いました。(地域の方)
- ・パネリストの方々が、過去の様々な経験や出会いをきっかけに、ご自分のキャリアに繋いでいる姿が頼もしかったです。(地域の方)
- ・中学生が大きな会場で屈託なく自分の思いを語る姿も素敵でした。こうした活気ある活動がそれぞれの学校の日々の活動や、学校に来られずに一人で悩んでいるような子たちにもなんらかの形で伝わっていくといいと思います。ますます地域と学校がつながり合って、誰一人取り残されない社会をつくりあっていくためにできることをしていこうと思いました。(地域の方)

3 その他、全体を通してお気づきの点がありましたらお書きください。

- ・ジュニアリーダーによる進行は大変よい。中学生がとても元気で積極的でした。これからの飯田を任せられそうで、心強く感じました。(園・学校職員)
- ・昨年と同じ感想を持ちましたが、大人が普段の生活の中で、もっとがんばらねば、と思いました。自信を持って、大人っていいぞ、と、こどもたちに言えるように日々を過ごしたいです。(園・学校職員)
- ・難しいフォーラムなのかなと思って初めて参加しましたが、そんなことはなかったです。親としての立場だけではなく、地域の大人として生き生きした暮らしをしたいと思います。(PTA・家族)

《全体考察》 保育園から専門学校まで幅広い世代が「問い」を持ち、地域課題の解決や将来の夢についての実践発表を行い、多角的な視点で学び合うことができた。パネリストの「好き」や「関心」や「生き方」を聞く発表会にとどまらず、発表を聞いた参加者が「自分の好きは何だろう?」「自分ならどうするか?」と自分事に引き寄せて考える時間の中で、中学生が積極的に発言し、大人がそれに感化される場面も多く、世代を超えた交流、人とのつながりの重要性を実感した。「好き」や「問い」から始まる探究が地域の未来を拓いていくように、地域全体で支援していく土壌をつくっていききたい。

こどもと親が共に育ち合う家庭共育

わが家の結いタイム

～ 家族のふれあいのために～

家庭は全ての教育の出発点です。こどもにとって「家庭」は安らぎのある楽しい場所であり、社会へ巣立っていくために欠かせない場所です。

飯田市では家族のふれあいのひと時を「わが家の結いタイム」と名付け推進しています。まずは、「あいさつ」「会話」「お手伝い」「読書」の身近な4つの取組みから始めてみませんか。

あいさつ

あいさつは人と人とのより良い関係を作るための第一歩です。

“おはよう” “いただきます” “ありがとう” “ごめんなさい” まずは家族の中で自分からあいさつする習慣をつけましょう。

会話

メールやケータイ・スマホばかりではなく、お互いの顔を見ながら心と心、言葉と言葉で会話をしましょう。食事の時間、入浴の時間、送迎の車の中で、親子のふれあいのひと時を楽しみましょう。

地域



家庭

行政

企業

学校

お手伝い

食事の準備や片づけ、掃除などのやり方を親から子に伝える時間は、そのまま家族のふれあいの時間になります。「お手伝いありがとう」の感謝の気持ちを伝えることも大切です。

読書

家族で同じ本を読んだり、読んだ本を紹介し合ったり、料理の本などを読んで一緒に作ったり、家族で一緒に図書館や書店に行くこともおすすめです。

各ご家庭で、できることから始めてみましょう！

他のご家庭の取組
(三行詩コンクール入選作品)



令和7年度 わが家の結びタイム三行詩

コンクール入賞作品

どの作品も情景が

浮かんでくるような

ステキな三行詩です

心がほっこりしたり、

胸がじーんとしたり…

ゆっくりとご覧ください



特選作品

園児の部

ごはんできたよってきこえたよ
わたしがもつてく
そーとつとつとく
おねえさんだもん

中村保育園年少 谷口いちか

小学校低学年の部

小さな弟はハイハイのれん習中
お手本はこしがいたい
97才のひいばあちゃん
2人でたたみの上を行進中

丸山小3年 北原由美果

小学校高学年の部

タペレ空
母といっしょに歩く道
かえるもいっしょに歌っている

丸山小5年 横田祐希

中学校の部

参観日、「来なくていいよ」と言うけれど、
母ちゃん来てると言わばいぢやないかいよ。
だからお願い、
名前を呼んで大きく手を振らないで。

緑ヶ丘中1年 飯沼美朱

一般の部

我が娘
絶賛反抗期中
でもソファに座ると隣に座る

水野弘子

入選作品

園児の部

ほんをよんでほしいもつと
ママはあちゃんのおせわをしてる
わたしがよんであげるね
ちよとじかんがかかるときいててね

鼎みつば保育園年中 矢崎郁佳

小学校低学年の部

いつもねる前は読書タイム
しゆく題のときははじゆく中タイム
それがいいの時は家ぞくタイム

丸山小3年 服部希海

小学校高学年の部

みんなでごはんを食べながら
お話すると「ごはんが
もつとおいしくなる。」

龍江小3年 熊田優奈

一般の部

ママとギョーつてすると
きもちがしあわせになる
きょうもがっこうがんばるぞー!

龍江小1年 飯島綾己

小学校高学年の部

お父さんとやってる交かん日記
ノートの中は二人だけの
ひみつだらけ

松尾小5年 原加達

小学校高学年の部

三行詩
家族みんなで 考える
アイデアでなくても
私は、楽しんで

三穂小5年 村松那奈

中学校の部

スマホより
家族のほうが
おもしろい

緑ヶ丘中2年 常盤昂輝

小学校低学年の部

母入院
父と2人で
がんばった

緑ヶ丘中2年 小林莉菜

一般の部

「いってきます」
言葉のハグして
出かけよう

緑ヶ丘中2年 久保田蒼月

一般の部

母さんへ。
くれた手紙の1行目
少し前まで「ママ」だった。
成長感じる贈り物。

林夏希

小学校高学年の部

「生まれてくれてありがとう」
「ごちそう生んでくれてありがとう」
寝る前の我が家の愛言葉

小松美由紀

小学校高学年の部

ママが昔好きだった絵本
パパが息子たちに読み聞かせて
家族みんな大好きな1冊になったね

岸田妙里

佳作作品

園児の部

おあさんのとなり
ころがぼかぼか
あたたい

勅使河原学園年長 南澤優偉

小学校低学年の部

わたしがこけて帰った日
わがを見せると、
わたしよりもいたそうな
顔をするお母さんが
おもしろくて
いたいのもわすれちゃいます

丸山小3年 酒井彩羽

小学校高学年の部

おとうさんとグータッチで
「いってきます」
これできょうも
げんきもりもり!

羽場とも未園年長 市瀬碧心

小学校低学年の部

ママがいもつたにたられて
かなしいな
いつかママを
かしてくるのかな?
いもつとはいもつかママを
あきらめるのかな?

三穂小1年 毛渥はる香

小学校高学年の部

高校生のお姉ちゃん
中学生のお姉ちゃん
それそれ自分の部屋に
いる時間がふえてきた
だけど、よるにははんに
家族みんながあつまる
三葉会がでる場所
おいし楽しい時間

川路小5年 村澤陽翠子

小学校高学年の部

大きな声で「いってきます」
かえってく。
「ごちそうしゃい」の声
よし今日もがんばるぞ。

龍江小3年 松尾楓真

小学校高学年の部

こつりと内緒でくれる
ひいおじちゃんのおまじは
にこにこしゃう

特別な味
一緒に食べると嬉しいな

川路小4年 白澤陽葵

小学校高学年の部

家族の笑顔日本
家族のわらう顔世界
私の家族宇宙

松尾小6年 森下穂

小学校高学年の部

私がたたいまつて言うとお
お母さんの「おかえり」が
返ってくる
その二言で私の心は
あたたまる

上郷小4年 仲田心葉

小学校高学年の部

「白ひなごがあつたよ」
みんなで言い合い
「ツッパッハ!」

丸山小3年 近藤ゆい

中学校の部

ドライブで
この曲いいねと
話し出す

緑ヶ丘中2年 神原睦言

小学校高学年の部

「あつ持つよ」
「買い物帰りの
ひとこと」で
会話のはじまり
笑顔のはじまり
おいし楽しい時間

緑ヶ丘中2年 熊谷陽奈

中学校の部

つらいとき
家族の支え
前を向く

緑ヶ丘中2年 山菅萌未

一般の部

曾祖父の過去を知り
増す命への感謝
忘れてはならぬ歴史を胸に

竜崎中2年 白澤美乃

一般の部

娘に「ママ」呼ばれた
あの日から
いつの間にか「お母さん」に。
今では時々「そはばあ」。
これが思春期 反抗期。
思はず吹き出し、また笑れる。

飯沼直美

一般の部

「ママ」を「ママ」で呼ぶと
両手で腕の中に入れても
今しか味わえない幸せを
大切にたく、腕を握りたい

宮澤真理子

一般の部

ルールも知らなかったママが
野球少年の恩子の影響で
今で最大の阪神タイガースファン
テレビで阪神を
応援している時間は
家族3人の幸せな時間

古田淳次

一般の部

「一緒に風呂に入らなるととき
「お母さん、
おへその下の傷なあに」
あなたが生まれてきた証
お母さんの大事な勳章

楠柄範子



※ポスター全体の体裁の関係で、行数が増えたりしています



家族のふれあいをワークライフバランスから

パートナー企業
募集中!

わが家の結いタイム パートナー企業認定制度



飯田市教育委員会では、家族と一緒に過ごし、心を通わせるひと時を「わが家の結いタイム」と名づけ、啓発・推進しています。家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場の実現に向け、「わが家の結いタイム」の趣旨に賛同し、取り組んでいただける企業を募集します!



わが家の結いタイムパートナー企業に認定されると…

飯田市でPR! 広報いいだでも公表

認定企業を飯田市のホームページで公開します。また、年に3回の推進月間（7月、11月、2月）には広報いいだでも公表します。

イメージUP!

家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場であるとのイメージアップにつながります。

啓発アイテムも

啓発アイテム（ロゴデータ、テーマソング、のぼり旗、チャレンジカード他）を提供いたしますのでご活用ください。

ご興味を持たれたら **まずはお問合せください!**

応募は簡単2ステップ

Step1

お問い合わせください!
パートナー企業認定制度についてご説明に伺います

お電話

0265-22-4511(内線 3741)

または

メール

shougai@city.iida.nagano.jp

件名「結いタイムパートナー企業応募」にてお送りください

Step2

会社としての取組をまとめて、
飯田市教育委員会へご提出
いただきます

飯田市教育委員会内で内容を確認し、
認定させていただきます。

例えばこんな取り組みを…

- 企業としての結いの日を定めて、のぼり旗などでわが家の結いタイムをPRする
- 昼休みなどにわが家の結いタイムのテーマソングを流す
- わが家の結いタイム三行詩コンクールへの応募を呼びかける
- 家族で参加できる地域行事への参加を呼びかける
(夏祭り、いいだ人形劇フェスタ、風越登山マラソンなど)
- その他、趣旨に沿ったオリジナルの取組大歓迎です!



※年度末にはアンケートにご協力いただいております。好事例を横展開し、わが家の結いタイムの輪を広げていきます。

詳細はウェブサイトからも
ご覧いただけます



飯田市ホームページ
パートナー企業認定制度のご案内



三行詩コンクール
入選作品はこちら

飯田市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
〒395-0053 長野県飯田市大久保町 2534

電話 0265-22-4511(内線 3741)
メール shougai@city.iida.nagano.jp